

平成21年 2月 定例会

◆(淵上陽一君) 続きまして、国指定天然記念物藤崎台の千年クスノキ群の整備と活用等についてお尋ねいたします。

私は、かつて甲子園を目指した高校球児でありまして、夏の甲子園大会予選が行われた藤崎台球場で白球を追い汗を流しました。その青春時代の記憶の一つに、青々と茂る外野席のクスノキの姿があり、その中には樹齢1,000年を超す7本の大木があることを後で知りました。

大正13年7月、国の天然記念物に指定されている藤崎台千年クスノキは、明治10年2月の西南戦争を生き延び、さらには、昭和20年7月の熊本大空襲によって戦火に傷つきながらも1,000年の命を紡いできたものであります。

また、クスノキは熊本の県木であり、熊本県の象徴でもございます。この場で私が指摘をいたしたいのは、熊本城本丸御殿が復元され、お城周辺の整備も検討される中であって、いかなる理由からか、熊本の1,000年に及ぶ生き証人である7本のクスノキ群だけは、放置に近い状態が続いているという事実であります。

国指定の樹木は全国に約450本ありますが、市街地の中であって、樹齢1,000年を超す大木が7本も残っているのは、ほかに例を見ない貴重なものであるにもかかわらず、残念なことに、ほとんどの県民は、この千年クスノキの価値を知りません。

昨年4月、この状況を憂えた地元新町の方々が中心となって、熊本城藤崎台千年クスノキ群顕彰保存会が結成され、クスノキ群の整備保存活用運動に取り組んでおられます。

まず着手されたのは、20数年前いたずら防止のために7本のクスノキの周囲にめぐらされた金網を撤去し、根元に植栽を行うことによって、だれもが気軽にクスノキに親しめるように、さらには、周辺を散策できる広場をつくりたいとの計画でありました。

昨年11月末、樹木専門家の指導を受けて、地元の方々の手によって1本のクスノキの金網を撤去し、幹の周りに500本のイヌツゲが植栽され、計画がスタートしました。

ところが、最近クスノキ群の一部に枝枯れが発生したため、専門家の指導により対策が講じられた結果、芽吹きは確認されたものの、心配な状態はまだ続いており、継続的な養生対策が望まれています。

一方、藤崎台球場は、野球開催日にはゲートが開かれ、広場は臨時的駐車場となりますが、それ以外の日は門が閉められているため、クスノキの見学に来た人が駐車する場所はありません。クスノキ群の存在の周知や情報提供の計画とあわせて、駐車場対策が望まれるところであります。

ところで、野球場とクスノキが根をおろす広場は国有地ではありますが、野球場使用の関係から、県がこれを借り受け管理しているため、国指定天然記念物のクスノキも県の管理下に置かれているとのことであります。

この状態を念頭に、千年クスノキ群の養生と整備、さらに活用等について、県としては今後どのように対処していかれるのか、教育長にお伺いいたします。

〔教育長山本隆生君登壇〕

◎教育長（山本隆生君） 藤崎台県営野球場にあります7本のクスノキ群は、国指定の天然記念物でありまして、森の都熊本の特徴とも言える存在で、保存のために金網のさくで囲み、管理をしてきたところでございます。

近年、このクスノキ群を積極的に周知し活用したいという機運が地元で高まってまいりました。このような中、昨年1本のクスノキにおいて、高温乾燥の気象状況による水分不足やかたい土壌による呼吸障害等で枝枯れが発生いたしました。このため、3月中と冬期に必要な処置を施し、樹勢回復を図りますとともに、その他の木についても、引き続き注意深く観察してまいります。

一帯の整備につきましては、地元の御意見を踏まえまして、クスノキ群をできるだけ公開し活用を努めることを目的として、昨年、1本のクスノキのさくを撤去し、かわりに地元の方々との協力して植栽を行ったところでございます。

今後は、樹木への影響を見た上で、文化庁とも協議を行い、順次金網から生け垣による管理へと切りかえ、地元の方々との連携して景観の向上に努め、適切な保存と活用を図りたいと考えております。

また、この一帯は観光資源としての価値も高く、観光ボランティアガイドによる町歩きのコースに組み込まれるなどの取り組みも始まっております。

県では、来訪者用の駐車スペースを確保し、モニュメントや説明板等を設置しますとともに、熊本市や関係機関等とも連携し、クスノキ群のすばらしさを県民あるいは観光客にアピールしてまいりたいと考えております。

〔淵上陽一君登壇〕

◆（淵上陽一君） 本件は、蒲島知事がマニフェストにうたわれている品格あるくまもとづくりに資するものであると思いますので、地元の皆さんと手を携えて、せつかくの貴重な記念物をしっかりと保存、整備、活用を努めていただきますようよろしくお願いをいたします。